

# 月刊 ゆがの通信

2015年6月号

発行：ゆがの薬局

## 梅雨におこる腰痛・膝痛・神経痛に 独活寄生丸(どっかつきせいがん)

### 「湿邪」が痛みの原因

風薫る五月も終わり、梅雨が近づいてきました。梅雨になりシメシメしはじめると腰や関節が痛みだす人が多くなります。漢方では「邪(じや 悪もの)」が体内に入り込むことによって痛みがおこると考えています。「邪」といふ悪いものの中でも特に厄介なのが、「寒邪(かんじや 冷えの邪)」と「湿邪(しつじや 湿気の邪)」で冬にやってくるのが前者で、梅雨に猛威をふるうのが後者です。シメシメした季節になると急に腰や関節が痛みだすのは「湿邪」が大暴れするからなのです。



湿邪は誰にでも影響するものですが、全ての人が腰痛や関節痛に襲われるわけではありません。老化やストレス、生活の不摂生等による体力の低下がみられると痛みとなって表れるのです。痛みまでいかなくても、だるさを感じ

たり、冷えがひどいなどというのもその影響です。また、五十代以降になると年齢的に腎の衰えや免疫力の低下、気(生命エネルギー)や血(潤いや栄養)の不足によって湿邪に侵され、冷えがおこり血流が悪くなると痛みへと発展します。痛みが原因で運動することがおっくうになってしまつと骨や筋肉は衰える一方となつてしまいます。衰えてしまつとそこがまた湿邪に狙われてしまつのです。

### 漢方で「湿邪」を追い払う

そこでおすすりめしたいのが「独活寄生丸(どっかつきせいがん)」という漢方薬です。この中にはドクカツ、ソウキセイ、トチュウ、ゴシツ、トウキ、センキユウなど一六種類もの生薬が配合されています。

この処方の一番の魅力はドクカツ、ジンギョウ、ソウキセイが体内に入り込んだ湿邪を追い払ってくれることで痛みをやわらげてくれる点です。

もう一つの魅力は、「肝は筋を主り、腎は骨を主る」と言われるように、ソウキセイ、トチュウ、ゴシツ、シオウが肝と腎を養って骨や筋肉を丈夫にする働きがある点です。

鎮痛剤を服用すると確かに痛みは一時的になくなりますが、胃腸障害などの副作用がおこる場合があります。ところが

この処方には副作用の心配がほとんどありません。これからの梅雨の季節にかけてつづつつけの「独活寄生丸」で足腰を強化し雨空を苦にすることなく元気いっばいに過ごしましょう。



漢方療法推進会  
「独活寄生丸」(第二类医薬品)  
六〇包(一か月分) 八、〇〇〇円+税



「独活寄生丸」についてのご相談ご質問は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております。

## 「こころがワクワクするとからだも元気に」

やる気がおこらない、イライラしやすい、心配事ばかりで不安、うつ、眠れない方  
ケアバランスでこころを安定させ健康な毎日を送りましょう



## ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150  
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>

1ヶ月分 8200円(税込)